











## 業況は、まだら模様

	景況天気図	概況
全体	8月  → 9月 	製造業は、一部で売上・収益に回復気配も窺えるが、全体に業種・企業間で格差が広がっている。非製造業は、依然として消費の盛り上がりには欠け、売上は低調に推移した。業況は、まだら模様。
製造業	食料品 	小麦粉は、即席麺で冷夏と夏季の在庫調整の反動から3ヶ月ぶりに前年を上回り、乾麺、生めんも順調に推移。パンは残暑の影響でやや減少。漬物は、中国産原料も不作等により大幅な高値。酒造は、純米酒が好調。
	繊維・同製品 	桐生は、服地・インテリアの受注が回復せず低調に推移。和装も、秋冬向け受注が本格化する時期ながら、前年割れ。伊勢崎は、正絹が明るい兆し。ニットは、需要が低価格と高価格製品の二極化傾向。
	窯業・土石製品 	生コン出荷量は、公共工事の前倒し発注もあって前年をやや上回った。コンクリートブロックは、一部で資金繰り悪化も。コンクリート製品は、道路側溝用コンクリート製品で価格低迷が続く。
	機械・金属 	全体的に受注量・コストともに厳しい状況が続いているが、輸送機器の一部では、設備がフル稼働しているところも見受けられ、収益に回復の気配も。家電関係は依然低調。全体では、業種・企業間格差が拡大。
	その他 	原木市場は、住宅金利上昇前の駆け込みなど住宅建築需要の増加気配から売上が好調。段ボールは、引き続き受注が低調。原紙メーカーが10月納入分から値上げを発表、収益の悪化が懸念される。
非製造業	卸売業 	同業他社の倒産や廃業により市場シェアが高くなることも見られるが、依然として販売価格、収益、取引条件は悪化。生鮮野菜は、天候が回復し取引は前年並み。水産物は、2ヶ々の売上減少で、収益も悪化。
	小売業 	家電は、メーカー系列毎の合同展示会が行われるも、全体的に販売価格の低迷もあって、売上は減少。商店街は、天候不順から秋物商戦が盛り上がりならず、売上が悪化。中古車は、売上低調で在庫も増加傾向。
	サービス業 	温泉旅館は、一部月半ばの連休で例年になく賑わいを見せたところもあったが、全体的に客数・売上とも前年並みに推移。自動車整備は、整備台数は前年並みを確保したが、整備単価の低迷により収益は減少。
	建設業 	公共工事受注も見受けられるものの、全体の量は少なく、未だ先行きに不透明感が強い。管工事業では、公共工事の県外大手企業の受注もあり、県内業者への潤いは殆ど見受けられず。電気工事は、零細業者が苦戦。
	運輸業 	上期決算と冷夏の反動で一部活発な荷動きが見受けられ、加えて排ガス規制で廃業や減車により、月末に車両不足が出たところも。排ガス規制などコスト増大要因が加わるなかで、更なる運賃引下げ要請も。



## 今我が業界は

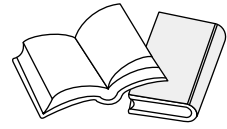
草津温泉旅館協同組合

事務局長 星野敏雄氏

(情報連絡員)

草津町の観光動向について  
日本一の湧出量、100%天然温泉、強力な殺菌力。これら草津温泉が誇る泉質を観光客に理解してもらおうと街全体で「泉質主義」をPRしています。積極的なPR活動が効を奏し、この数年旅館への入込み客数は順調に推移しています。スキーシーズンのみならず、夏季に開催される草津国際音楽アカデミーや「リーグ入り」が目玉される「ザスパ草津」の応援の盛り上がりなどで、草津町は四季を通して賑わいを見せています。

組合事業について  
私達は常にお客様に一つでも多く満足を得て頂きたいという気持ちを抱いています。旅館やホテルにおける顧客満足の原点は、従業員の心を込めた接待であると思います。組合では、組合員旅館の従業員の資質向上に役立てようと、専門講師を招き接客技術や観光知識を高める講習会「草津観光学院」を開催しています。知名度を生かし誘客に一層励むと共に、魅力のあるまちづくりに貢献すべく組合事業を推進しています。



## 平成十四年工業統計調査 結果速報について

群馬県

県では、平成十四年十二月三十一日現在で実施した平成十四年工業統計調査結果について、その概要を速報として公表しました。

本調査は、製造業を営む事業所を対象に、工業の実態を明らかにすることを目的として毎年実施されています。

主要調査項目における結果概要は以下の通りです。

### 事業所数

事業所数は、前年と比べ五〇七事業所減（増減率 六・七％）の七、〇〇九事業所。

部門別では、重化学工業が前年と比べ二八四事業所減の三、六二二事業所（構成比五・七％）、軽工業が二二三事業所減の三、三八七事業所

（四八・三％）。

### 従業者数

従業者数は、前年と比べ一一、九八八人減（増減率 五・二％）の一、七〇七、一九三人。

部門別では、重化学工業が前年と比べ一四、六六二人減の一四万一、三四八人（構成比六五・二％）、軽工業が二、六七四人増の七万五、八五四人（三四・九％）。

### 製造品出荷額等

製造品出荷額は、前年と比べ五、五七二億円減（増減率 七・二％）の七兆二、二一四億円。

部門別では、重化学工業が前年と比べ六、三〇二億円減（増減率 一〇・九％）の五兆一、七六四億円（構成比七一・七％）、軽工業が七二九億円増（増減率三・七％）の二兆四五〇億円（構成比二八・三％）。

### 付加価値額

付加価値額は、前年と比べ九八三億円減（増減率 三・七％）の二兆五、六〇五億円。

部門別では、重化学工業が一、二〇二億円減（増減率 六・三％）の一兆七、七四五億円（構成比六九・三％）、軽工業が二八億円増（増減率二・九％）の七、八六〇億円（構

成比三〇・七％）。

## 群馬の景気・雇用対策事業

群馬県

群馬県では、景気回復に向けた動きを着実なものとするためには、金融支援の拡充や雇用機会の創出対策などに、引き続き積極的に取り組みが必要があると考えています。九月補正予算では、金融セーフティネットの拡充と雇用支援施策の拡充等緊急に対応しなければならぬ施策や中小企業の技術力強化支援等将来を見据えた事業を行うほか、中小企業の受注機会の確保等に全庁をあげて取り組むこととしています。

### 施策の柱

#### 金融セーフティネットの拡充

中小企業者の資金需要に積極的に応えるため、制度融資枠を拡大。

#### 経営強化支援資金

「融資枠 五〇億円拡大」  
「セーフティネット資金（Ａタイプ）」

「融資枠 一〇〇億円拡大」

・排出ガス基準適合車購入資金

「融資枠 一〇億円拡大」

#### 雇用支援施策の拡充

県民生活の基盤である雇用の安定を図るため、雇用及び就業の機会を

創出します。

・緊急地域雇用創出特別基金事業

「二九、七九七千円」

・緊急地域雇用創出対策市町村補助

「四三、五二五千円」

・中小企業の技術力強化の支援

中小企業の技術力強化を積極的に支援するとともに、二十一世紀のものづくり技術者を育てます。

・産業技術センター・繊維工業試験場の受託研究費

「二三、三〇七千円」

・産業技術センター運営管理

「二〇、〇〇〇千円」

・目指せスペシャリスト研究開発プロジェクト（新規）

「九、〇〇〇千円」

・中小企業の技術力強化の支援

生活の安全に関連の深い施設等の整備を行う際、中小企業者の受注機会の確保を図ります。

・フラワーパーク整備

「四一、四五六千円」

・交通信号機設置

「一八、二三二千円」

・小児医療センター新病棟建設（新規）

「二二〇、九五九千円」

・東第二発電所建設（新規）

「一〇、〇〇〇千円」

## 中堅リーダー研修を開催

去る十月二日、四日、赤城村のヘルシール赤城において「中堅リーダー研修」を開催した。

本事業は、企業の要となる中堅管理・監督者を対象にリーダーとしての自覚を促し、適切な職場管理手法を身に付けることを目的として毎年実施されているもの。

研修では、セキシン教育コンサルタント代表の瀧口庸行氏を講師に迎え、時代に対応するマネジメント能力向上とリーダーシップ強化を目的に様々な講義が進められる中、参加者は皆、積極的に課題に取り組んでいた。



## パソコン研修会が開講

組合関係者を対象とする恒例の中央会パソコン研修会が、十月七日、十一月十四日の延べ二十四日間の日程にて開講された。



平成十年の開始以来、六度目となる今年度は、応用コースとアクセス応用コースを新たに企画するとともに、各日程とも一日つつ増やすなど、目的やレベルに応じた研修ができるようカリキュラムが組まれた。

研修では講師の丁寧な指導の下、あまり知られていない便利な機能も数多く紹介され、参加者は慣れない操作に苦労しつつも楽しげに受講していた。

## 改正労働基準法をテーマに研修会

本会では、十月九日、前橋市のぐんま共済ビルにおいて「改正労働基準法のポイントと中小企業の対応策」をテーマとする研修会を開催した。

研修では、社会保険労務士の新井正信氏を講師に迎え、来年早々にも施行が予定されている労働基準法の改正について、今回改正の趣旨や今後の対応策など、具体的な事例を交えた解説が行われた。

日々の経営に直結する問題だけに、当日出席した多くの参加者は、真剣な表情で講師の説明を聞いていた。



## 情報連絡員全体会議を開催

本会では、十月十日、前橋市のマイキョリーホテルにおいて情報連絡員全体会議を開催した。



当日は、先ず全国中央会情報部主幹加藤篤志氏より中央会電子認証サービスについて講演が行われ、インターネット上での商取引や情報交換の普及に伴い各種法整備が進み、組合においても総会等の手続きで電磁的方法の利用が可能となった。中央会で提供する電子証明書は安価で信頼性も高く、積極的に活用して欲しいとの説明が行われた。続いて事務局より最近の景況に関する説明がなされ、その後の意見交換では、中小企業者の現下の厳しい状況が報告された。

# 中心市街地活性化のあり方を探る

中心市街地のにぎわいを取り戻すことが、一部の大都市を除き、全国的な課題となっている。郊外の大型店と異なる価値観を創出していくには何が必要か、見直すべき点は何か。群馬県商店街振興組合連合会では、青年部（橋本直幸会長）、また、傘下商店街の女性部の人たちを募った女性部視察研修をそれぞれ行った。

## TMOを軸に、整備と活性化の一体的推進

### ～青年部視察研修～

県振連青年部では、十月十四日（火）～十五日（水）、中心商店街の再活性化に取り組み、全国から注目を集めている青森市新町商店街（振）を視察した。

同市は平成十年十一月に青森市中心市街地再活性化基本計画を策定。平成十二年にはTMO青森を立ち上げ、行政等と商店街を始めとした民間が一枚岩になり、いくつもの事業構想を立案し、活性化に取り組んでいる。

今回視察した青森市新町商店街（振）は、青森駅より南に八百メートルに及ぶ街区を形成しており、図

書館などが入っている駅前再開発ビル「アウガ」のほか、「パサージュ広場」整備と商業ベンチャー支援事業の実施、レンタサイクル導入実験などにより、確実に歩行者通行量は増加に転じ、活気に満ちている。

同商店街の加藤常務理事は「商店街は市民すべての共有財産であるという前提に立って商店街活動を進めている。施策を上手に活用することが第一。さらに、これからはまちづくりや福祉、環境問題への取り組みを活発に行っている住民組織やNPOなど地域と連携を図っていくことが重要である」と語ってくれた。

## 空き店舗対策などで意見交換

### ～女性部視察研修～

一方、女性部視察研修会は、十月二十二日（水）～二十三日（木）、神奈川県川崎市にある新城商店街（振）のおかみさん会「朋の会」（元吉智恵子会長）を訪問。当日は、朋の会から元吉会長ほか五名、朋の会の運営す



るチャレンジショップから三名、さらにはおかみさん会をバックアップする親組合から成田理事が出迎えてくれた。

新城商店街は、川崎駅から南武線で八駅目の武蔵新城駅南口を降り立つたところにある店舗数八十三の近隣型商店街。最寄品と買回品、飲食店がバランスよく配されたいかにも地



域密着型の商店街といった印象。

おかみさん会「朋の会」は平成九年に結成され、優しく、無理せず、助け合い」を精神に、「ほのほの市」、「まちのお知らせ掲示板」の管理、空き店舗を活用した一坪ショップ「ともとも」の運営を行っている。本県参加者は、朋の会の結束力とアイデアあふれる事業内容に感心しながらも、フリーマーケットやチャレンジショップの具体的運営方法、出店者からの参加料等の質問など、積極的に交流を図り、充実した視察研修となった。

11月のテレビ番組  
**企業未来！**  
**チャレンジ21**  
 テレビ東京 毎週土曜日  
 6:30~6:45

- 1日 仏壇を癒しの家具に！～既成概念打破へ大胆チャレンジ～日本のメジャーへ！
- 8日 顧客第一で業界トップへ！～製販一環体制で梱包機を極める～  
下請取引適正化月間
- 15日 高齢化日本へを逆手に取れ！～お年寄りのための街づくりで商店街活性化  
第22回JAPAN SILK STOFF
- 22日 売れるものに開発を集中！～高精密レンズで光時代をリード～  
ニッポン全国むらおこし展の開催について
- 29日 伝統技術で新規市場開拓！～日本酒メーカーの生き残り策  
小規模企業設備資金制度について

国際競争力強化交流促進事業

(視察交流研修)のご案内

群馬県中央会

本会では、技術開発力・効率的な生産システムに定評があり、積極的な世界市場への進出により非常に高い国際競争力を誇る先進企業を視察するとともに、工場計画から生産管理・ISO等、生産に関するマネジメント全般にわたり極めて高い指導力を持つ専門家をコーディネートに交流研修会を開催致します。是非、ご参加下さい。

- ・開催日 十一月十四日(金) 十五日(土)
- ・視察研修 十一月十四日(金)
- 「先進モデル工場の視察」  
於：村田機械株式会社加賀工場
- ・交流研修 十一月十五日(土)
- 「国際競争力強化のための生産シ

STEMのあり方

於：佳水郷(宿泊先)

・専門家

湘南工科大学助教 金谷 孝氏

・参加費 二万五千元

・定員 三十名

お申込みは、本会開発課まで。

講習会の開催について

群馬県中央会

本会では、消費税法の一部改正が行われ、平成十六年四月一日以後に開始する課税期間より適用されるのを受け、この改正への円滑な対応を図っていただくため、実務対応策を中心とした講習会を開催致します。是非、ご参加下さい。

- ・テーマ 消費税法改正とその対応策
- ・日時 十一月十八日(火)
- 午後一時三十分
- ・場所 マーキュリーホテル

本館二階「紫宸の間」

・講師 税理士 塚越 正司氏

・定員 百二十名

詳細は、本会指導一課まで。

ぐんま情報化フェアのご案内

県地域情報化推進協議会

群馬県地域情報化推進協議会では、県内の情報化を推進するため、ぐんま情報化フェアを開催致します。入場無料ですので、奮ってご参加下さい。

- ・日時 十一月二十二(土) 二十三日(日)

・場所 県庁一階県民ホール

関連イベント 十一月二十二日(土)

午後二時～午後四時四十五分

「ブロードバンドと

インターネット放送」

- ・場所 県庁二階ビジターセンター
- ・定員 百十名(当日受付)

十一月の金融相談所スケジュール  
 商工中金前橋支店  
 午後一時～午後三時  
 太田商工会議所  
 十一月五日、十二日、十九日  
 二十六日

編集後記

年金制度改革に向け、厚生労働大臣が、定年制を原則六十五歳まで引き上げる方針を表明。年金支給開始年齢との空白を埋めることが目的とのことですが、企業の人件費負担の増加、若年者の高失業率、高齢者の就職難など多くの課題を抱えており、中小企業に与える影響も大きいだけに、国民の意見も含め十分な議論を尽くして取り組んで欲しいものです。

平成十六年度の中小企業対策予算の概算要求では、創業や新事業、新分野への挑戦を強力に後押しした内容になりました。元気な中小企業の育成に向け、技術革新や人材の育成・充実に多面的な支援が行われる予定です。中央会としても時代に合った事業展開が強く求められる折、さらに支援体制を強化して参ります。

第五十五回中小企業団体全国大会が十月三十日、東京都・渋谷公会堂で開催されます。小泉首相の出席を願って、時間を変更してまでの開催、中小企業者の生の声を直接聴いていただく絶好の機会になりますように、詳しい内容は次号に掲載します。

表紙絵・李志宏氏